

VMware App Volumes

ソリューションの概要

Q：App Volumes について教えてください

A：VMware App Volumes™ (旧称 CloudVolumes) は、エンドユーザーとデスクトップにアプリケーションをリアルタイムで提供する製品です。IT 部門は App Volumes を使用して、ユーザー環境に影響を及ぼさずに、アプリケーションやデータをユーザーへ迅速に配布できます。管理されたボリュームを使用することにより、インフラストラクチャと管理のコストを削減できるほか、従来のアプリケーション管理ソリューションとは異なり、コストとユーザー環境のバランスをとりながら、デスクトップを提供できるようになります。

Q：App Volumes の仕組みについて教えてください

A：App Volumes を使用することで、大規模な環境でもわずか数秒間で、アプリケーションやデータをデスクトップおよびユーザーに提供し、インストールからアップデート、そして最終的な置換まで、アプリケーションのライフサイクル全体を管理できます。アプリケーションは読み取り専用の仮想ディスクに格納され、ボタンをクリックするだけで、ユーザー、グループ、またはデバイス単位で、デスクトップに即座に関連付けることが可能です。これらのアプリケーションはエンドユーザーには物理的にインストールされているアプリケーションと同様に稼働します。

Q：App Volumes を使用するメリットは何ですか

A：まず第一に俊敏性とコスト削減です。アプリケーションのワークロードを数秒で提供またはアップグレードでき、アプリケーションのプロビジョニングは、インストールと同じくらい簡単です。App Volumes は、優れたユーザー使用環境を提供しながら、ストレージと管理のコストを削減することもできます。エンドユーザーは、完全にカスタマイズされたデスクトップを活用できるうえ、自身でアプリケーションをインストールすることも可能です。また、セッションを終了しても変更した設定は維持されます。さらに、App Volumes が提供するオンデマンドのレイヤー機能やノンパージスistent (非持続型) アーキテクチャを活用することにより、コンピューティング、ネットワーク、およびストレージのコストを削減できます。App Volumes の仮想ディスクは、VMware vSphere® がサポートする任意のデータストアに配置できるため、VMware Virtual SAN™ など、読み取り速度 (IOPS) に優れた高速ストレージを含む最適なストレージの利用が可能です。CIFS 共有を利用してネットワーク経由でアプリケーションをストリーミングする必要はありません。

Q：App Volumes におけるユーザー データの取り扱いについて教えてください

A：デバイスまたはユーザーのデータやユーザーがインストールしたアプリケーションを、単一の書き込み可能なボリュームに格納できるオプションが用意されています。ユーザーが別の仮想デスクトップに移動しても、データおよびユーザーがインストールしたアプリケーションを引き続き使用できます。

Q：Horizon と App Volumes の連携について教えてください

A：App Volumes は、仮想デスクトップやアプリケーションを変更せずに、ネイティブ アプリケーションを VMware Horizon® の仮想デスクトップに VMDK を通じてオンデマンドで提供します。このソリューションを vSphere で仮想化して Horizon 上で利用することで、Horizon (with View) の仮想デスクトップにアプリケーションを迅速に提供できます。また、仮想デスクトップの管理および維持コストを大幅に削減することができ、Horizon 6 だけを使用した場合と比べて、ストレージ ボリュームを平均で 30 % 削減できます。さらに、ノンパージスistent (非持続型) プールとパージスistent デスクトップのメリットを活用できるため、ストレージを大幅に削減できます。Citrix XenApp®, XenDesktop®, RDSH など、ほかのタイプの環境でも、App Volumes を使用して、同様にコストを削減することが可能です。

Q：App Volumes 2.7 の新機能について教えてください

A：VDI と RDSH のデスクトップで Windows 8.1 と Windows Server 2012 R2 がサポートされるようになりました。また、Citrix XenDesktop 7.X と Citrix XenApp 7.X にも対応し、Citrix XenServer と Hyper-V 向けの VHD のサポートが拡張されました。

Q：VMworld 2014 で Project Fargo が発表されましたが、App Volumes と VMware Horizon 6 にはどのような影響がありますか

A：Project Fargo と App Volumes によって、VMware Horizon 6 上で仮想デスクトップやアプリケーションをわずか数秒で提供できます。デスクトップやアプリケーションのプロビジョニングには、通常は数分から数時間かかりますが、Project Fargo と App Volumes によって、このプロビジョニングの処理時間を大幅に短縮できます。Project Fargo と App Volumes を合わせて Project Meteor と呼んでいます。

Q：このソリューションを、仮想化していない PC 環境で使用することはできますか

A：はい。ただし、初期段階では VDI のユースケースに重点を置いています。

Q：このソリューションにより、ネットワーク、ストレージ、またはコンピューティングのオーバーヘッドが発生しますか

A：いいえ。App Volumes は、ストレージの I/O とキャパシティを削減し、ネットワークとコンピューティングにもほとんど影響しません。

Q：VMware 以外の VDI ソリューションを導入している場合でも App Volumes を利用できますか

A：はい。App Volumes は、Citrix XenDesktop、Citrix XenApp、および RDSH でも利用いただけます。

Q：App Volumes と Mirage の違いについて教えてください

A：App Volumes は、アプリケーションをリアルタイムで動的にデスクトップに提供し、VMware Mirage™ は、静的なオフラインの構成を通じて、イメージ管理機能を物理 PC に提供します。

Q：App Volumes と ThinApp の違いについて教えてください

A：App Volumes は、アプリケーションをリアルタイムで動的にデスクトップに提供します。VMware ThinApp® は、アプリケーションをオペレーティング システムから分離し、IE6 などのレガシー アプリケーションを、Windows 7 などのサポート対象外のオペレーティング システムでネイティブに実行できることなどが、メリットとして挙げられます。ThinApp は、CIFS 共有からネットワーク経由でストリーミングするのではなく、App Volumes を通じて VMDK として提供できます。

詳細については、

<https://www.vmware.com/resources/techresources/10411>

(英語) を参照してください。

Q：App Volumes のデモや評価版はどこで入手できますか

A：評価版は <http://www.vmware.com/jp/products/appvolumes/> で公開しています。ハンズ オン ラボでも、製品を試用いただけます。

labs.hol.vmware.com

ライセンス

Q：App Volumes の購入を検討しています。購入方法について教えてください

A：App Volumes は、単体製品の SKU、Horizon Enterprise の一部、または VMware Horizon® Application Management Bundle の一部としてご購入いただけます。

Q：App Volumes のライセンスについて教えてください

A：App Volumes のライセンスは、同時接続ユーザー (CCU) 単位で付与されます。

